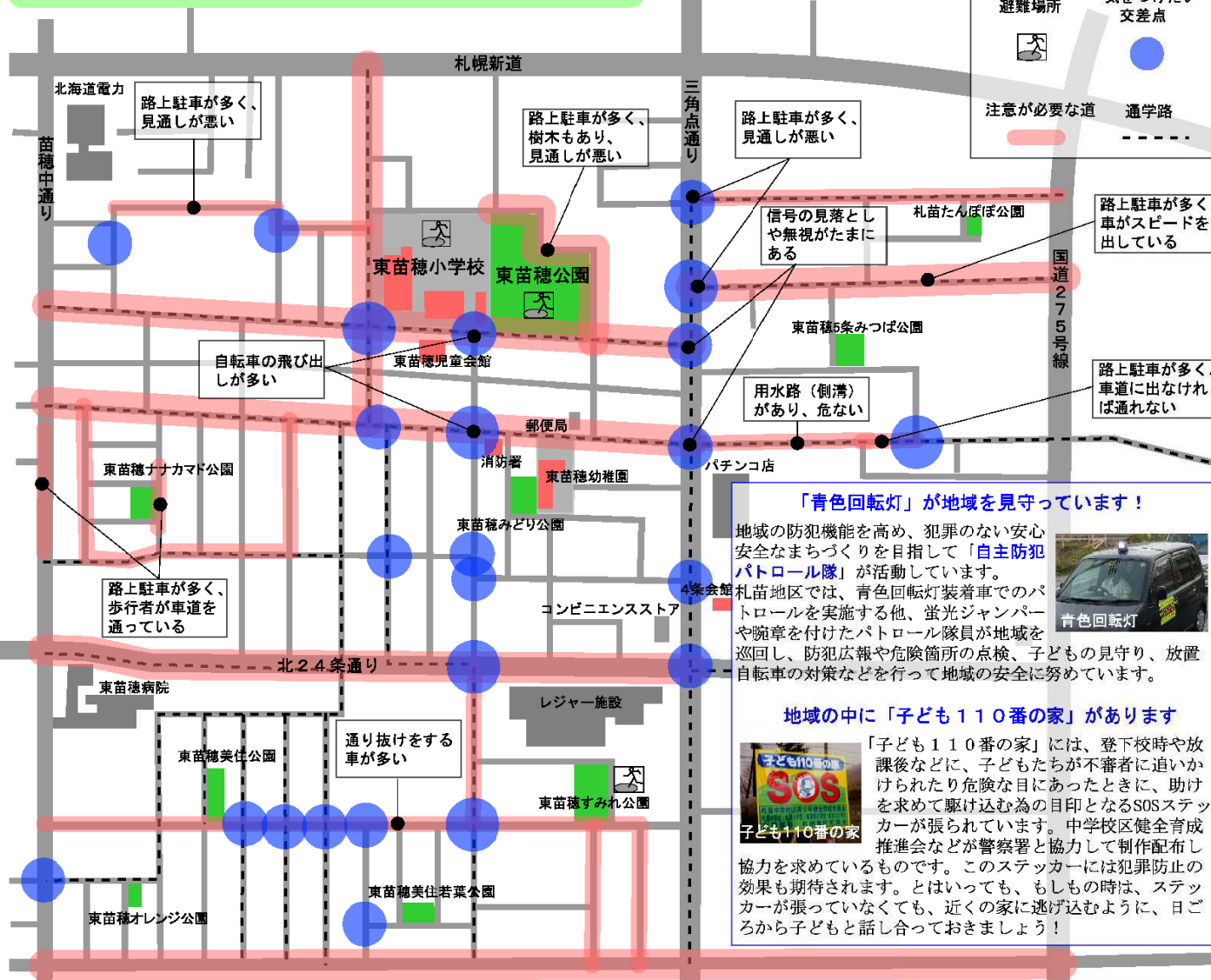


東苗穂小学校区 交通・防災防犯 安心安全マップ

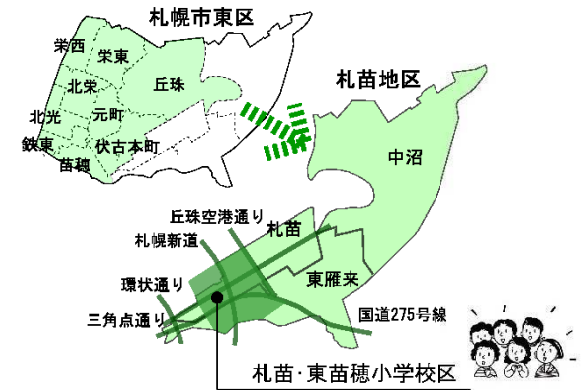


凡例

- 避難場所 (避難場所のアイコン)
- 気をつけたい交差点 (赤い丸)
- 注意が必要な道 (赤い線)
- 通学路 (黒い点線)

札幌地区 安心安全マップ

part.2 札幌小学校・東苗穂小学校区 編



札幌地区では平成19年度から「安心安全マップ」づくりに取り組んでいます。地域を小学校区ごとにわけて作成・配布しています。平成19年度(part.1)の札幌北・札幌緑小学校区に引き続き、平成20年度(part.2)は札幌・東苗穂小学校区について作成しました。

マップpart.2作成に当たっては、札幌・東苗穂小学校の両校区の皆様に情報提供をお願いし、また両校児童のご家庭にご協力を頂きアンケートを行いました。

「安心安全マップ」は、危険な場所を示すためだけのものではありません。マップづくりやアンケートをきっかけに、危険な場所を見つける力と、そこを安全で安心な場所に変えていく工夫を、皆で考えていく為のものです。各ご家庭でもこのマップを有効に活用していただければ幸いです。

- ～マップづくりの効果～
- 被害防止能力…自分たちで危険な場所を探して歩くことで、どのような場所が危険かを理解できるようになる。
 - コミュニケーション能力…みんなで作業することで、コミュニケーションをとる力が育つ。
 - 地域への愛着心…地域への関心が高まり、子どもたちは地域に見守ってくれる大人がたくさんいることに気づく。
 - 非行防止能力…コミュニケーションによって社会性や、地域の安全に貢献する活動をすることによって市民性が育つ。
 - 大人の犯罪意識…子どもを地域ぐるみで守る意識が高まり、安心安全なまちづくり・地域づくりへ発展する。

札幌地区「安心安全マップ」や、アンケートの集計結果は、札幌地区ホームページ http://www.geocities.jp/moere_satunae/ からご覧いただけます。

このマップへのご意見・ご質問などは、札幌まちづくりセンター (tel 011-783-3608) 又はモエレまちづくり委員会・まちの情報委員会 メール (moere_satunae@yahoo.co.jp) まで

平成21年4月発行
企画制作・発行 モエレまちづくり委員会/まちの情報委員会

「青色回転灯」が地域を見守っています！

地域の防犯機能を高め、犯罪のない安心安全なまちづくりを目指して「自主防犯パトロール隊」が活動しています。札幌地区では、青色回転灯装着車でのパトロールを実施する他、蛍光ジャンパーや腕章を付けたパトロール隊員が地域を巡回し、防犯広報や危険箇所の点検、子どもの見守り、放置自転車の対策などを行って地域の安全に努めています。

地域の中に「子ども110番の家」があります

「子ども110番の家」には、登下校時や放課後などに、子どもたちが不審者に追いかけられたり危険な目にあったときに、助けを求めて駆け込む為の目印となるSOSステッカーが張られています。中学校区健全育成推進会などが警察署と協力して制作配布し協力を求めているものです。このステッカーには犯罪防止の効果も期待されます。とはいっても、もしもの時は、ステッカーが張ってなくても、近くの家に逃げ込むように、日ごろから子どもと話し合っておきましょう！

- ◀ 『「安心安全なまちづくり」に関するアンケート』から その2 ▶
- 保護者の皆さんに質問！「子どもたちに行かせたくない場所」は…？
- ①ゲームセンターなど(子ども同士で・・・)
 - ②子どもだけのお店での買い物・お店への出入り
 - ③豊平川などの川・河川敷
 - ④三角点通り・新道・275号線など交通量の多い道を渡るところ
 - ⑤車の交通量の多いところ
 - ⑥校区外・遠いところ

ゲームセンターや子どもだけのお店の出入り・買い物については、まだ小学生では早いと思うという意見が大半でした。また、お金を持って出かけるとトラブルに巻き込まれるのでは…と心配する声もありました。

豊平川や河川敷での遊びは、危険が伴うので禁止しているという家庭が多かったようです。

また、6割程度の家庭では、子どもの遊んでいる場所をほとんど把握しているという回答でした。皆さんもこの機会に、各家庭で子どもの活動範囲や遊び場所などについて話をしてみてはいかがでしょうか。